



旭 日単光章を受章されました

元有明町長の宮路昭蔵さんが地方自治功労者として「旭日単光章」を受章されました。

宮路さんは、昭和62年4月から平成7年4月まで2期8年間、有明町長を務められました。町政の最高責任者として、町の交通基盤や農業基盤の整備・充実及び住民福祉の向上等に尽力し、町勢発展に大きく貢献されたことが評価され、今回の受章となりました。



交 交通安全を守る活動を表彰

野尻トミさんと田中郁子さんが県交通安全母の会活動功労者表彰を受けました。

12月21日、市長室において表彰の伝達式が行われました。野尻さんは平成12年、田中さんは平成17年から交通安全母の会の活動に参加され、「交通安全は、家庭から」を合言葉に、活動されてきました。お二人とも数々のボランティア団体に所属され、各方面でご活躍されています。

消 消防出初式が開催されました

市民の安全を守る消防団員が一同に会し、平成28年消防出初式が開催されました。

1月6日、市文化会館において消防出初式が開催されました。オープニングでは山重小学校少年消防クラブと女性消防隊が規律訓練を披露しました。式では日本消防協会会長表彰等の伝達、来賓から祝辞が贈られました。(山重小学校少年消防クラブの法被と帽子は宝くじ助成金を活用し購入しました。)



剣 道大会が盛大に開催

志布志武道館創立20周年記念少年剣道大会が開催され170チーム約800人の少年剣士が参加しました。

12月23日、志布志運動公園体育館において同大会が開催され、指導者、保護者、地元高校生などもスタッフとして多数参加しました。九州各地から参加した少年剣士が剣技を競い、志布志武道館は中学校女子の部で優勝、幼児の部、小学校低学年の部、小学校高学年の部で準優勝と好成績を収めました。



鬼 火たきで無病息災を祈願

松山町新橋、泰野校区で鬼火たきが行われ今年1年の無病息災を祈願しました。

1月9日、新橋地区で鬼火たきが行われました。小学生の大声コンテストや城南保育園の園児によるお遊戯、抽選会や温かいぜんざいの振る舞い等がありました。鬼火で焼いた餅を食べると1年間病気をしないとわれ、参加者は竹の先に刺した餅を残り火で焼いて食べ、無病息災を祈願しました。

1月10日、泰野地区で鬼火たきが行われました。年男女でもある泰野小学校の6年生が、冬休みから準備してきた将来の夢や今年の抱負の発表や、温かい手打ちそばの振る舞いなどが行われました。写真上：鬼火で餅を焼く参加者。(新橋校区) 写真下：パーンと大きな音を立てて燃え上がる竹のやぐら。(泰野校区)



消 消防車の寄贈を受けました

一般社団法人日本損害保険協会から小型動力ポンプ付軽四輪駆動消防車の寄贈がありました。

12月25日、市役所において受納式が行われ、同協会から鍵と目録が贈られました。同協会は、社会貢献、防災事業の一環として、地域における防災力の強化・拡充に貢献するため、全国の市区町村に毎年消防自動車を送っています。消防車は志布志方面隊安楽分団に配備されました。

B &G 志布志海洋クラブ体験学習

水陸両用車いす「チェアボート」の体験試乗会にクラブ員4名が参加しました。

12月27日、日置市で障害者支援施設「ふるさと学園」の入所者と「チェアボート」試乗体験会に参加しました。チェアボートは体の不自由な人や高齢者が楽しむことができる水陸両用車いすです。入所者の介助体験を通じて年齢や障がいの有無を問わず、お互いが支え合う大切さを学習しました。



市内では
いろんなことが
ありました。

まちの話題

志 布志発の丼が全国 2位を獲得

昨年の3位からさらに躍進! 『志布志発』かごしま黒豚三昧 丼が準グランプリを獲得しました。

1月8日から17日までの10日間、東京ドームにおいて開催された第7回全国ご当地どんぶり選手権において『志布志発』かごしま黒豚三昧 丼が準グランプリを獲得しました。過去最多の約43万人を集客した「ふるさと祭り東京2016」のメインのイベントとして開催され、『志布志発』かごしま黒豚三昧 丼は、昨年は3位を獲得し、今年はシード枠で出場。本選では全国各地の予選会を突破したどんぶりを含む合計15のご当地どんぶりがNo.1の座を競いました。背白りめん三昧丼から始まった「志布志の美味しいものを全国へ届けたい」というこの取組も、今年で5回目の挑戦となり、会場では「美味しいから、今日これで3杯目」「今年こそグランプリ獲ってね」等多くの方から温かい声援もいただきました。準グランプリを獲得し、商工会等関係者からは「来年こそはグランプリ」との意気込みが聞かれ、来年の全国1位が期待されます。



韓 国の大学生が今年も合宿

昨年引き続き有明野球場で合宿を行う韓国大学野球部の歓迎セレモニーが行われました。

1月18日、有明野球場において歓迎セレモニーが行われ、市スポーツ団体誘致推進協会（市ヶ谷誠会長）から激励の品として志布志産黒豚1頭が贈られました。同大学野球部は、プロ野球選手も輩出する強豪校で、選手31名、監督・スタッフ5名が2月19日まで志布志市に滞在し合宿を行います。



22 回目の交流研修が行われました

市内の小学校5・6年の8名が山形県酒田市にホームステイし雪国の生活を体験しました。

1月22日～25日に行われた研修では、文化伝承館の見学等を通して山形の歴史や伝統を学習。スキーなど雪国の遊びも体験しました。参加した研修生は、「早朝からの除雪が大変そうだった。受け入れてくれた家族の優しさに感謝したい」と語るなど、成長した姿も伺える研修となりました。



①小学生の部のスタートダッシュ
②会場を盛り上げてくれたやっちく松山藩の忍者
③沿道からの声援を受けて走ります。
④後輩から先輩へ、タスキが繋がる。
⑤子どもに負けずに大人も力走!
⑥一般男子の部で優勝した尚志館の力強い走り。
⑦抽選会もありました。
⑧美味しいお茶とぜんざいで疲れも吹き飛びます!

第11回志布志ジョガー駅伝競走大会

1月11日、2016第11回志布志ジョガー駅伝競走大会が、志布志運動公園陸上競技場周辺で開催されました。小学生の部61チーム、中学生以上の部29チームの計90チーム、553名が参加しました。ジョガー駅伝は、順位だけではなく申告したタイムに近いチームに贈られる申告タイム賞があり、参加者はスピードとチームワークを競いました。会場ではスポーツ推進委員によるぜんざいや、若葉会によるお茶が振る舞われ、選手や応援にこられた皆さんに喜んでもらえたようです。

- ◆小学生の部・団体賞1位
 - 小学生女子・西原JRC C 31分27秒
 - 小学生男子・西原JRC A 29分55秒
 - ◆小学生の部・申告タイム賞
 - 西原JRC A (タイム差5秒)
 - ◆中学生以上の部・団体賞1位
 - 中学生女子・高山J陸上F 52分15秒
 - 中学生男子・鹿屋中学校 48分41秒
 - 一般女子・尚志館女子陸上 1時間06秒
 - 一般男子・尚志館A 44分31秒
 - ◆中学生以上の部・申告タイム賞
 - 鹿屋中学校 (タイム差11秒)
- その他に、区間賞 飛び賞、敢闘賞がありました。